



浄土真宗本願寺派

# 正信念仏偈

## お勤めの仕方

- ① 一つは、住職（代表者）一人が発音します。音符横の**カタカナ**は**ハ調の音階**を表します。その音階で最初の発生音を出します
  - ② 二つ目からご一緒にお勤めしましょう
  - ③ （正信念偈の部 一〜十五頁）  
文字の横の**赤い符号**に合わせて音階を下げます。また、**赤い下ル**でその行の下まで音階を下げます。**引**は二拍伸ばします。
  - ④ （念仏和讃の部 十六〜二十四頁）  
文字の横の**赤い符号**に合わせて音階を上げ下げ、また、変化させます。**引**は二拍伸ばします。
- ※詳しくは、「浄照寺ホームページ」で解説します。

## 浄照寺



**帰命無量寿如来** **引**  
きみようむりようじゆによらい **引**

**南無不可思議光** **引**  
なもふかしぎこう **引**

ほうぞうぼさついに **引**  
**法蔵菩薩因位時** **引**

ざいせいざいおうぶつしよ **引**  
**在世自在王仏所** **引**

とけんしよぶつじようど **引**  
**観見諸仏浄土因** **引**

こくどにんでんしぜんまく **引**  
**国土人天之善悪** **引**

こんりゆうむじようしゆしようがん **引**  
**建立無上殊勝願** **引**

ちようほつけうだいぐせい **引**  
**超発希有大弘誓** **引**

五劫思惟之撰受ごこうしゆいししょうじゆ引

重誓名声聞十方じゆうせいみしょうしやうもんじつぽう引

普放無量無辺光ふほうむりやうむへんこう引

無碍無对光炎王むげむたいこうえんのう引

浄照寺

本願名号正定業ほんがんみやうごうしやうじやうごう引

至心信楽願為因ししんしんぎやうがんにいん引

成等覚証大涅槃じやうとうがくしやうだいねはん引

必至滅度願成就ひっしめつどがんにじやうじゆ引

清浄歡喜智慧光しやうじやうかんぎちえこう引

不断難思無称光ふだんなんじむしやうこう引

超日月光照塵刹ちやうにちがっこうしやうじんせつ引

一切群生蒙光照いっさいぐんじやうむこうしやう引

如来所以興出世にょらいしよいこうしゆつせ引

唯説弥陀本願海ゆいせつみだほんがんかい引

五濁惡時群生海ごじよくあくじぐんじやうかい引

応信如来如実言おうしんにょらいによじつごん引

能發一念喜愛心のうほついちねんきあいしん引

不断煩惱得涅槃ふだんぼんのうとくねはん引

凡聖逆謗齊廻入ぼんじょうぎやくほうさいえにゆう引

如衆水入海一味によしゆうしいにゆうかいいちみ引

淨照寺

譬如日光覆雲霧ひによにつこうふうんむ引

雲霧之下明無闇うんむしげみようむあん引

獲信見敬大慶喜ぎやくしんけんききようだいぎき引

即横超截五惡趣そくおうちようぜつごあくしゆ引

攝取心光常照護せつしゆしんこうじょうしやうご引

已能雖破無明闇いのうすいはむみようあん引

貪愛瞋憎之雲霧とんないしんぞうしうんむ引

常覆真實信心天じょうふしんじつしんじんてん引

一切善惡凡夫人いっさいぜんまくぼんぶにん引

聞信如來弘誓願もんしんによらいぐぜいがん引

仏言廣大勝解者ふつごんこうだいしやうげしや引

是人名分陀利華ぜにんみようふんだりけ引

彌陀仏本願念仏みだぶつほんがねんぶつ 引

邪見憍慢惡衆生じゃけんきょうまんなくしゅじょう 引

信樂受持甚以難しんぎょうじゅじじんになん 引

難中之難無過斯なんちゅうしなんむかし 引

淨照寺

印度西天之論家いんどさいてんしろんげ 引

中夏日域之高僧ちゅうかじちいきしこうそう 引

顯大聖興世正意けんだいしやうこうせいしやうい 引

明如來本誓忘機みやうによらいほんぜいおうき 引

釈迦如來楞伽山しゃかにょらいりやうがせん 引

為衆告命南天竺いしゅごうみやうなんてんじく 引

龍樹太士出於世りゅうじゅたいじしゅつとせ 引

悉能摧破有無見しつのおざいはうむけん 引

宣說大乘無上法せんぜつだいじやうむじやうほう 引

証歡喜地生安樂しやうかんぎじしやうあんらく 引

顯示難行陸路苦けんじなんぎやうろくろく 引

信樂易行水道樂しんぎやういぎやうしどうらく 引

憶念彌陀仙本願 おくねん みだぶつほんがん 引

引 引 引 引 引

自然即時入必定 じねんそくじにゆうひつじよう 引

引 引 引 引 引

唯能常称如来号 ゆいのうじようしようによらいごう 引

引 引 引 引 引

応報大悲弘誓恩 おうほうだいひぐぜいおん 引

浄照寺

広由本願力廻向 こうゆほんがんりきえこう 引

引 引 引 引 引

為度群生彰一心 いどぐんじようしやういっしん 引

引 引 引 引 引

帰入功德大宝海 きにゆうくどくだいほうかい 引

引 引 引 引 引

必獲入大会衆数 ひつぎやくにゆうだいえしゆしゆ 引

天親菩薩造論説 てんじんぼさつぞうろんせつ 引

引 引 引 引 引

歸命無碍光如来 きみようむげこうにょらい 引

引 引 引 引 引

依修多羅顕真实 えしゆたらけんしんじつ 引

引 引 引 引 引

光闡横超大誓願 こうせんおうちやうだいせいがん 引

浄照寺

得至蓮華蔵世界 とくしれんげぞうせかい 引

引 引 引 引 引

即証真如法性身 そくしやうしんによほっしやうじん 引

引 引 引 引 引

遊煩惱林現神通 ゆうぼんのうりんげんじんずう 引

引 引 引 引 引

入生死菌示忘化 にゆうしやうじおんじおうげ 引

ほんし どんらんりようてんし 引  
本師曇鸞梁天子

じようこうらんしよ ぼさつらい 引  
常向鸞処菩薩礼

さんぞうる し じゆじようきよう 引  
三蔵流支授浄教

ほんじようせんぎよう きらくほう 引  
梵焼仙經帰楽邦

浄照寺

てんじん ぼさつろんちゆうげ 引  
天親菩薩論註解

ほうど いん が けんせいがん 引  
報土因果顕誓願

おうげん ね こう ゆ たりき 引  
往還廻向由他力

しようじよう し いん ゆい しんじん 引  
正定之因唯信心

わくぜん ほん ぶ しんじん ぼつ 引  
惑染凡夫信心発

しようち しようじ そく ね ほん 引  
証知生死即涅槃

ひつ し むりようこうみようど 引  
必至無量光明土

しよう しゆじようかい ふ け 引  
諸有衆生皆普化

どうしゃつけっしようどうなんしよう 引  
道綽決聖道難証

ゆいみようじようど か つうにゆう 引  
唯明浄土可通入

まんぜん じりきへんごんしゆ 引  
万善自力貶懃修

えんまんとくごうかんせんしよう 引  
円満徳号勸専称

三不三信誨慇懃 さんぶさんしんけおんごん 引


像末法滅同悲引 ぞうまつほうめつどうひいん 引

一生造悪値弘誓 いっしょうぞうあくちぐぜい 引

至安養界証妙果 しあんにやうがいしやうみようか 引

(ぶつたんにいづれ区切ります)

浄照寺

 善導独明仏正意 ぜんどうどくみやうぶつしやうい 引

矜哀定散与逆悪 こうあいじやうさんよぎやくあく 引

光明名号顕因縁 こうみやうみやうごうけんいんねん 引

開入本願大智海 かいにゆうほんがんだいちかい 引

行者正受金剛心 ぎやうじゃしやうじゆこんごうしん 引

慶喜一念相応後 きやうきいちねんそうおうご 引

与韋提等獲三忍 よいだいとうぎやくさんにん 引

即証法性之常樂 そくしやうほっしやうしじやうらく 引

善導独明仏正意 ぜんどうどくみやうぶつしやうい 引

矜哀定散与逆悪 こうあいじやうさんよぎやくあく 引

光明名号顕因縁 こうみやうみやうごうけんいんねん 引

開入本願大智海 かいにゆうほんがんだいちかい 引

源信広開一代教 げんしんこうかいいちだいきやう 引

偏帰安養勸一切 へんきあんにやうかんいっさい 引

専雜執心判浅深 せんぞうしゆうしんはんせんじん 引

報化二土正弁立 ほうけにどしやうべんりゆう 引

ごくじゅうあくにんゆいしようぶつ引  
極重悪人唯称仏

がやくざいひせつしゅちゅう下ル引  
我亦在彼摄取中

ぼんのうしょうげんすいふけん引  
煩惱障眼雖不見

だいひむけんじょうしょうが下ル引  
大悲無倦常照我

浄照寺

ほんしげんくうみょうぶつきょう引  
本師源空明仏教

れんみんぜんまくぼんぶにん引  
憐愍善悪凡夫人

しんしゅうきょうしょうこうへんしゅう引  
真宗教証興片州

せんじやくほんがんぐあくせ下ル引  
選拔本願弘悪世

げんらいししょうじりんでんげ引  
還来生死輪轉家

けっちぎじょういしよし下ル引  
決以疑情為所止

そくにゅうじゃくじょうむいらく下ル引  
速入寂靜無為樂

ひっちしんじんいのうにゅう引  
必以信心為能入

ぐきょうだいじしゅうしどう引  
弘經大士宗師等


じょうさいむへんごくじよくあく引  
拯濟無辺極濁惡

どうぞくじしゅうぐどうしん引  
道俗時衆共同心

しだいにゆつくり引  
唯可信斯高僧説







  
 世せのも盲み冥みをらてらすなり引  
 法ほ身っのし光ん輪引きわもなく引  
 いまにじ十っ劫こをへたまえり引  
 弥み陀だ成じ仏よのこのかたは引


  
 南な 南な 南な  
 無も 無も 無も  
 阿あ 阿あ 阿あ  
 弥み 弥み 弥み  
 陀だ 陀だ 陀だ  
 仏ぶ 仏ぶ 仏ぶ

浄  
 照  
 寺


南な 南な 南な 南な 南な  
 無も 無も 無も 無も 無も  
 阿あ 阿あ 阿あ 阿あ 阿あ  
 弥み 弥み 弥み 弥み 弥み  
 陀だ 陀だ 陀だ 陀だ 陀だ  
 仏ぶ 仏ぶ 仏ぶ 仏ぶ 仏ぶ

南な 南な 南な 南な  
 無も 無も 無も 無も  
 阿あ 阿あ 阿あ 阿あ  
 弥み 弥み 弥み 弥み  
 陀だ 陀だ 陀だ 陀だ  
 仏ぶ 仏ぶ 仏ぶ 仏ぶ


  
 南な 南な 南な 阿あ  
 無も 無も 無も 弥み  
 阿あ 阿あ 阿あ 陀だ  
 弥み 弥み 弥み 仏ぶつ  
 陀だ 陀だ 陀だ  
 仏ぶ 仏ぶ 仏ぶ  
 |





南な 南な 南な 南な  
 無も 無も 無も  
 阿あ 阿あ 阿あ  
 弥み 弥み 弥み  
 陀だ 陀だ 陀だ  
 仏ぶ 仏ぶ 仏ぶ

浄照寺


  
 眞実明しんじつみやうに帰命きみやうせよ  
 光こう暁けうかむらぬものはなし  
 有う量りやうの諸相しよそうことごとく  
 智ち慧えの光こう明みやうはかりなし  
 引

南な 南な 南な 南な  
 無も 無も 無も 無も  
 阿あ 阿あ 阿あ  
 弥み 弥み 弥み  
 陀だ 陀だ 陀だ  
 仏ぶ 仏ぶ 仏ぶ





  
 畢竟ひつきよう依えをを歸き命みせせよよ
  
 一切いっさいのの業ごう繫けものものぞぞここりりぬぬ
  
 遇ぐ斯し光こうののゆゆええななれればば
  
 清しょう淨じよう光こう明みようななららびびななしし
  





  
 南な 南な 南な 南な
  
 無も 無も 無も 無も
  
 阿あ 阿あ 阿あ 阿あ
  
 弥み 弥み 弥み 弥み
  
 陀だ 陀だ 陀だ 陀だ
  
 仏ぶ 仏ぶ 仏ぶ 仏ぶ

淨  
照  
寺


南な 南な 南な 南な 南な
  
 無も 無も 無も 無も 無も
  
 阿あ 阿あ 阿あ 阿あ 阿あ
  
 弥み 弥み 弥み 弥み 弥み
  
 陀だ 陀だ 陀だ 陀だ 陀だ
  
 仏ぶ 仏ぶ 仏ぶ 仏ぶ 仏ぶ

南な 南な 南な 南な
  
 無も 無も 無も 無も
  
 阿あ 阿あ 阿あ 阿あ
  
 弥み 弥み 弥み 弥み
  
 陀だ 陀だ 陀だ 陀だ
  
 仏ぶ 仏ぶ 仏ぶ 仏ぶ

## 私たちのちかい

- 一、自分の殻に閉じこもることなく  
穏やかな顔と優しい言葉を大切にします  
微笑み語りかける仏さまのように
- 一、むさぼり、いかり、おろかさに流されず  
しなやかな心と振る舞いを心がけます  
心安らかな仏さまのように
- 一、自分だけを大事にすることなく  
人と喜びや悲しみを分かち合います  
慈悲に満ちみちた仏さまのように
- 一、生かされていることに気づき  
日々に精一杯つとめます  
人々の救いに尽くす仏さまのように


 仏ぶつ光こう照せう曜えう最さい第だい一いち  
 光こう炎えん王おう仏ぶつとなづけたり  
 三さん途ずのこく黒く闇あんひらくなり  
 大だい忘おう具ぐをき帰み命みようせよ


 願がん似に此し功く徳どく  
 平びょう等どう施せ一い切さい  
 同どう発ほつ菩ぼ提だい心しん  
 往おう生じょう安あん樂らく国こく